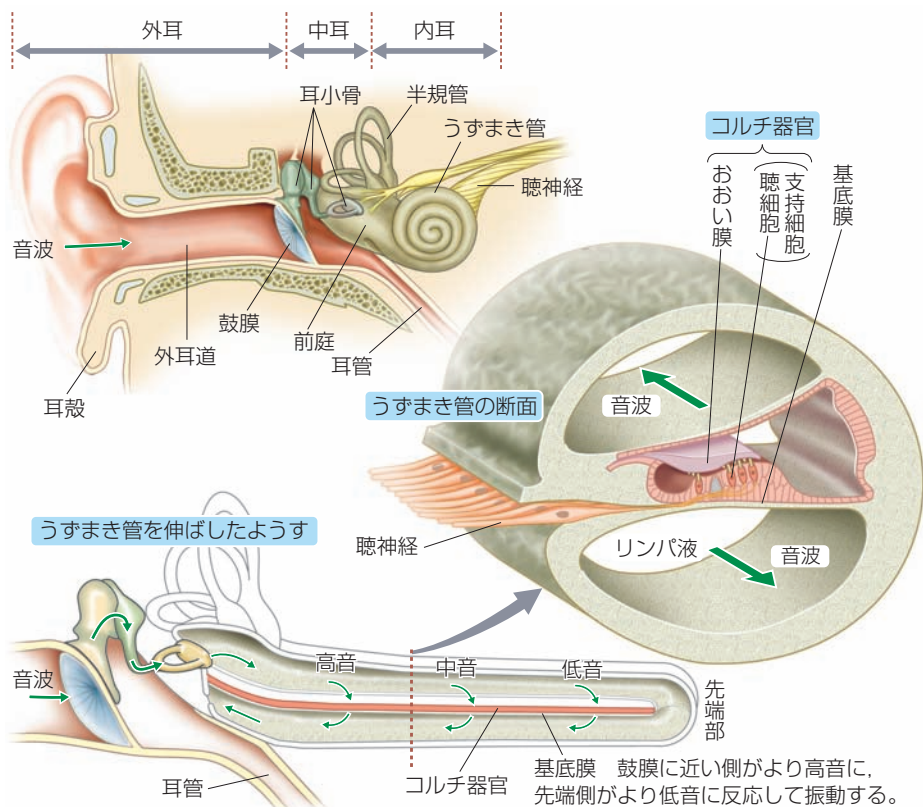


## C 聴 覚

ヒトの聴覚器官である耳は**外耳・中耳・内耳**の3つの部分からなり、音の感覚細胞は内耳の**うずまき管**にある(図8)。

音とは空気の振動である。外耳で集められた音は中耳にある**鼓膜**を振動させる。その振動は**耳小骨**によって増幅され、内耳のうずまき管に伝えられる。うずまき管はリンパ液で満たされており、リンパ液が振動すると、音の周波数によって基底膜の特定の場所が振動する。そこで音の高さが区別できることになる。基底膜の上にある**コルチ器官**には感覚細胞である**聴細胞**があり、音波が伝わってくると聴細胞の毛が動かされ、聴細胞が刺激を受ける。この情報が聴神経を経て大脳に伝わり、**聴覚**が生じる。

5



▲ 図8 ヒトの聴覚器官 耳には聴覚と平衡覚の受容器がある。